

平成 29 年 6 月 14 日

愛 媛 大 学

## 弥生時代、地域の鉄器化はどこまで進んだのか 「瀬戸内海考古学研究会」を開催

このたび、弥生時代の鉄器をテーマに、平成 29 年度「瀬戸内海考古学研究会」第 7 回大会を下記のとおり開催します。

列島の鉄器化は決して一律に同時的に進行したのではなく、一定の地域差を有しながら進んでいきました。そのため、共通した一定の視点をもって地域の鉄の実相を見定め、相互比較をすることが肝要です。その視点として、鉄器の普及度・鉄器の分化度合・鍛冶遺構の能力の三視点から照射して、地域の鉄器化に迫ります。

なお、この研究会は、愛媛大学考古学研究室と東アジア古代鉄文化研究センターが共同で開催するものです。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、是非取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：平成 29 年 6 月 17 日（土）12：50～17：00

18 日（日） 9：00～13：00

場 所：愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール（松山市文京町 3）

世話人：東アジア古代鉄文化研究センター センター長 村上 恭通

駐車場：無（公共交通機関をご利用ください。）

※ 伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約 3 分。

※ 報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門警備員室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください

※送付資料 2 枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学研究支援部

研究支援課研究支援チーム

TEL:089-927-8166 Fax:089-927-8905

E-mail:kenshi@stu.ehime-u.ac.jp

## 【研究発表】

6月17日(土) 12:50~ 17:00

開会挨拶・趣旨説明 研究会代表 下條信行 12:50-13:00

### 鉄器普及の地域相

栗林 誠治(徳島県埋蔵文化財センター):環瀬戸内海 13:00-13:35

宮里 修(高知大学):四国南部 13:35-14:10

— 休 憩 —

高尾 浩司(鳥取県むきばんだ史跡公園):山陰 14:25-15:00

禰宜田 佳男(文化庁):近畿 15:00-15:35

— 休 憩 —

杉山 和徳(白岡市教育委員会):東日本 15:50-16:25

### 工具論の最前線

田中 謙(今治市村上水軍博物館) 16:25-17:00

6月18日(日) 9:00~ 13:00

### 鉄器生産の地域相

伊藤 宏幸(淡路市教育委員会):東部瀬戸内 9:00-9:35

石貫 弘泰(愛媛県埋蔵文化財センター):西部瀬戸内 9:35-10:10

村上 恭通(愛媛大学) 10:10-10:45

— 休 憩 —

シンポジウム 11:00-12:50

閉会挨拶 研究会副代表 谷若倫郎 12:50-13:00